

富士山憲章 NewsLetter



No.126



富士河口湖町 大石公園より

平成30年度 富士山憲章
山梨県推進会議幹事会の開催

平成30年5月16日(水)、山梨県立富士山世界遺産センター北館の研修室において、平成30年度富士山憲章山梨県推進会議幹事会が開催されました。



平成30年度富士山憲章山梨県推進会議幹事会の様子

富士山ボランティアセンターを運営している富士山憲章山梨県推進会議は、山梨県と富士北麓地域の7市町村(富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町)、2つの恩賜林組合(富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合、鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合)で構成されており、山梨・静岡両県で制定した「富士山憲章」の理念の実現に向けた活動を行っています。

幹事会では、前年度の活動内容等が報告されるとともに、より多くの方々に「富士山憲章」を知ってもらうため、また、富士山の保全に協力してもらおうための今年度行う事業を決定しました。

「富士山憲章」とは？

ここで、制定20年の節目を迎える「富士山憲章」について改めてご紹介します。

日本の象徴である富士山を後世に末永く継承していくという機運を醸成するため、平成10年11月18日に制定されました。「富士山憲章」には5つの行動規範があり、富士山の多種多様な自然や美しい景観、豊かな文化や歴史を守り、保護と適正な利用のもとに、その恵みを未来に引き継いでいくという内容になっています。



「富士山憲章」の碑(富士スバルライン五合目 ローターリ)

この「富士山憲章」の全文を記した碑が富士山4登山口(富士スバルライン、富士宮、御殿場、須走)の他、数か所に設置されていますので、この夏、富士山や山麓を訪れる際は是非ご覧下さい。

平成29年度 活動報告

昨年度は、大変多くの方々に当センターの事業にご参加いただきました。

富士スバルラインのマイカー規制期間中の混雑期、山梨県立富士北麓駐車場で実施した「富士山美化啓発キャンペーン」には、10日間で、のべ109名のボランティアの方々に参加していただき、昨年度から初の試みとして、駐車場内の清掃活動を実施しました。ニューズレターNo.124でも紹介しましたが、タバコの吸い殻やペットボトルのほか、草むらに放置されたソールの剥がれた靴や壊れた雨具、金剛杖などを回収しました。

また、「第15回富士さんへ謹賀新年」富士山あて年賀状」には、全国43都道府県より過去最多となる1,800通のご応募をいただきました。富士山への愛に溢れる作品をより多くの方々にご覧いただくため、東京都内の施設でも入賞作品20点の展示を行いました。

平成30年度 事業内容

富士山憲章制定20年、また世界文化遺産登録5年を迎える本年度は、新規事業として、富士山の「保護」や「利用」、そして富士山を取りまく環境の「未来」について、将来を担う若い世代に改めて考えてもらうためのワークブックを作成し配布、また多くの子供たちにそれを活用してもらえよう働きかけていきます。

「富士山美化啓発キャンペーン」や「富士山エコトレッキング」、「富士さんへ謹賀新年」も例年通り実施します。

まず、山梨県立富士北麓駐車場で実施する「富士山美化啓発キャンペーン」は、7月14～16日、8月10～15日の計9日間行います。昨年同様、登山マナーを呼びかける啓発活動のほか駐車場内の清掃活動も実施します。また、8月10～15日の参加ボランティアについては、募集期間を延長しますので、詳細については本誌裏面をご覧ください。

次に、本年度第1回目の「富士山エコトレッキング」は、構成資産である旧胎内(船津胎内樹形)から新胎内(吉田胎内樹形)、中ノ茶屋までの古道を歴史解説を行いながら散策する他、富士山レンジャーによる環境学習会や景観保全のための清掃活動も行います。

「第16回富士さんへ謹賀新年」富士山あて年賀状」の募集は11月上旬を予定しておりますので、今しばらく

富士山環境保全募金・寄付募 集のお知らせ

お待ちしております。

富士山ボランティアセンターでは、皆様からの募金のご協力をお願いしております。皆様から寄せられた募金は、富士山の環境保全の費用として大切に活用させていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



募金箱

募金箱は、次の場所に設置されています。

- ・ 富士山ボランティアセンター
- ・ 富士山五合目総合管理センター
- ・ 山梨県富士山科学研究所
- ・ 道の駅富士吉田

- ・ ふじやまビール
- ・ 三つ峠グリーンセンター
- ・ 富士湧水の里水族館
- ・ 山中湖観光案内所
- ・ 山中湖 紅富士の湯
- ・ 山中湖 花の都公園
- ・ 富士河口湖観光総合案内所
- ・ 河口湖自然生活館
- ・ 道の駅なるさわ
- ・ なかとみ和紙の里

また、皆様よりご協力いただいた寄付や募金は、清掃活動用のゴミ袋や軍手、また富士山の気象・地形・地質・動植物・歴史・文化や保全対策など様々な内容が盛り込まれた「富士山環境保全ガイドブック」等に使用され、全国の皆様に無料で配布しております。



(左から)富士山環境保全ガイドブック、ゴミ袋、軍手

ガイドブックにご興味がある方、富

士山や山麓で清掃活動を検討されている方はお問い合わせください。

富士山吉田口登山道周辺清掃 活動に参加しました

平成30年5月19日(土)、富士吉田市主催の富士山吉田口登山道周辺清掃活動に参加しました。

この活動には、地元の企業や団体などが参加しており、13年目を迎える今年は20団体294名が参加し、約1時間半の活動で可燃ゴミ約200kg、不燃ゴミ約330kgを回収しました。



開会式の様子(富士北麓公園中央モニュメント広場)

当日は6グループに分かれ、吉田口登山道とその周辺で活動しました。当センターのグループは、東富士五湖道路側道約1.5kmの区間を担当しまし

た。



側溝に捨てられた大量のタバコの吸い殻を拾う様子

缶やペットボトル、タバコの吸い殻、お弁当の容器など、側道を通る自動車から投げ出されたのではないかと印象を受けました。また、側道沿いの川やその周辺の草むらには、自転車や掃除機も投棄されていました。



集積ポイントでゴミをピックアップしたトラック



富士山登山ガイド 吉田口登山道

標高差 約1,405m
コース距離 約13.8km
コースタイム 登り 6時間10分
 下り 3時間35分
 (コースタイムはあくまでも目安です)

スバルライン マイカー規制

7/10 17:00 ~ 9/10 17:00
 期間中にマイカーでお越しの際は、富士北麓
 駐車場でシャトルバス等に乗り換えて下さい。



服装・装備

防寒着 100m登ると気温は0.6℃下がります。また夜は気温が下がるので、真夏でも震える程の寒さになります。フリース+ウィンドブレーカー等組合せて防寒するのが良いです。
帽子・リュック 紫外線量は1km高くなる毎に10~20%増します。リュックには隙間が空かないバックタイプでUVカットのものを。日差し避けの帽子は流れ止めを付けておくが良いです。
雨具 山で傘はNG。風で役に立たないばかりか飛ばされると凶器になるからです。雨具は風よけにもなるので、すぐに取り出せる所にバックアップするのが良いです。
靴 運動靴でも登山は可能ですが、バックパックを崩すと足首を痛めます。踝まで隠れるバックパックのシューズが良いです。なお、暫く履いていない運動靴で登ったら靴底が剥がれたというケースもあります。必ず事前にチェックしましょう。
ヘッドライト 予備電池も忘れずに。
ヘルメット 噴火リスクと落石対策の為に持ち参りましょう。
水 富士山には沢が無く水は貴重です。一方で脱水症状や高山病の対策として水分補給は不可欠です。1.5~2ℓ/人は準備して臨みましょう。
防塵マスク・メガネ 意外と大変なのが下り。大勢が歩くので砂埃が舞い靴に小石が入ったり。万が一の噴火の火山灰対策の為に防塵マスクと足回りのメガネがあると安心です。

計画・アプローチ

山梨県側の開山期間とマイカー規制期間
 吉田口 開山期間 …7/1(日)~9/10(月)
 スバルラインマイカー規制期間 … 上記参照。
弾丸登山の危険性
 夜中に5合目に到着し、そのまま徹夜で登山して未明に登頂、御来光を見て午前中には5合目に下山するといういわゆる「弾丸登山」をする人がいますが、弾丸登山は体力的に厳しく、一気に登るため高山病のリスクが増すのでお奨めしません。十分な休息を取りながら登りましょう。
ETプラン 山小屋利用1泊2日
 1日目 昼頃5合目に着き、1時間程休憩の後出発、夕方5~8合目の山小屋着。夕食後仮眠。
 2日目 深夜0~1時頃出発し未明に登頂。御来光を見たら、お鉢巡りをしてゆっくり下山。
 ※体力的に不安があれば十分睡眠を取り、山小屋で御来光を迎えてから山頂を目指す行程もお奨めです。
山小屋の予約 5合目以上では予約は禁止です。山小屋はお盆はとて混むので、早目に予約しましょう。
御中道 登頂だけが富士山の魅力ではありません。5合目を巡る御中道(お中道)は自然豊かで高低差も少なく気軽に楽しめます。奥庭まで片道約1時間半です。

富士山混雑予想カレンダー

7月 July

特に混雑
 混雑
 やや混雑
 平常

☀…富士山頂での日の出時刻(目安)

日	月	火	水	木	金	土
1 ☀4:21 山梨開山	2	3	4 ☀4:23	5	6	7
8 ☀4:25	9	10 静岡開山	11 ☀4:26	12	13 ☾新月	14
15 ☀4:29	16 海の日	17	18 ☀4:31	19	20	21
22 ☀4:34	23	24	25 ☀4:36	26	27 登山競争 吉田口	28 ☽満月
29 ☀4:39	30	31				

8月 August

日	月	火	水	木	金	土
			1 ☀4:42	2	3	4
5 ☀4:45	6	7	8 ☀4:47	9	10	11 山の日
12 ☀4:50	13 ☽新月	14	15 ☀4:53	16	17	18
19 ☀4:56	20	21	22 ☀4:58	23	24	25
26 ☀5:01 ☽満月	27	28	29 ☀5:04	30	31	

9月 September

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 ☀5:07	3	4	5 ☀5:09	6	7	8
9 ☀5:12	10 ☽新月 開山日					



吉田口登山道の特徴

首都圏からのアクセスがよく富士登山で最も利用されているコース。7、8合目を中心に収容規模の大きい山小屋が充実しており、救護所もあるので心強いです。

ただ大勢の人が利用する人気コースなだけに一人一人のマナーがとても大切です。

コースの注意点

- ・7～8合目に岩場があります。
- ・9合目辺りはご来光渋滞が起き易いです。
- ・下山道8合目にある須走口との分岐は注意。
- ・下山は分岐～7合目までトイレ無しです。

安全登山・緊急対応

登山届BOX: 5合目総合管理センターの中にあります。

COMPASS: 「COMPASS」はスマホやPCから登山届が出せるシステムで、全国の山域に対応し警察とも連携しています。観光気分で登る人もいますが日本一の高山。きちんと意識し登山届を提出しましょう



落石・崩落箇所: 7合目以上の岩場や登山客で渋滞する付近では落石の危険に注意が必要です。またお鉢巡りでは大沢崩れの近くなど崩落の危険のある場所もあります。標識等に注意して慎重に。場所に応じてヘルメットも装着しましょう。

高山病: 急激な高度UPは避け、ゆっくり歩き水分補給、休息が重要です。掛かった場合は深呼吸を心掛け、必要なら無理せず下山して高度を下げましょう。

救護施設: 5合目総合管理センター内と、上り7,8合目に救護施設があり、一部期間で24h体制です。

登る前にぜひ一度チェックしてみてください!

富士登山オフィシャルサイト

<http://www.fujisan-climb.jp/basic/index.html>



ルール・マナー

ゴミ: 山にゴミ箱はありません。各自きちんと持ち帰るのが山の常識です。また特に多いのが、休憩や写真撮影した所にうっかり忘れのゴミ。「立つ鳥後を濁さず」とチェックしてから出発を。

トイレ: 5合目以上は全て環境配慮型トイレで、維持管理の為に有料(200～300円)です。小銭の準備を忘れず。あと、山頂トイレは全て7/10迄使えません。また下山道は7合目迄トイレが無いのでご注意ください。

ルートを外れない: ルートの脇に張ってあるテープより先は立入禁止です。休憩の際でも外れないように。

幕営禁止: 5合目以上はどこもアウト設営禁止です。

宿泊時のマナー: 登山では睡眠・休息は重要。夕食後は静かに休み早めに就寝を。深夜に出発の際も寝ている人がいるので静かに準備しましょう。

動植物や溶岩などの採取・持帰り禁止: 山で持ち帰っているのは思い出だけです。石なども記念に持ち帰るのは自然公園法違反になります。

富士 さん歩

Vol.2

今回は、富士北麓地域の神社で見られる巨木をご紹介します。

そもそもなぜ神社に杉が植えられているのかというと・・・(花粉症患者に対するあてつけではありません。)

かつて高天原から地上へ神様が降ってくる時、杉の木のでっぺんに降り立ったとか。つまり地上と天上へは杉の木をつたって行き来しているということです。

さらには八岐大蛇退治や暴れん坊で有名

すきのおのみこ

な素戔鳴尊が、舟を作るために必要だということ、ヒゲを引っこ抜いて放つと、それが杉の木になり、胸毛は檜になり……。

古来より日本人の身近にあり重要な木だったのです。

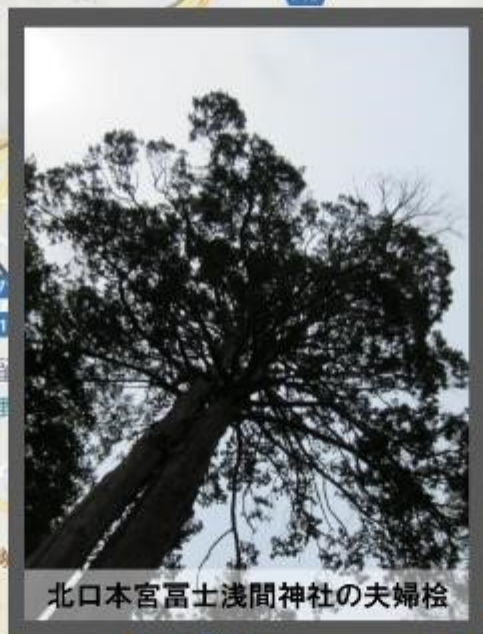
ここで紹介した4か所以外にも、北麓地域には下吉田小室浅間神社など杉だけに限らず、巨木や特徴のある木がいくつもあります。興味がある方は、ぜひ北麓地域を一回りして探してみたいかがでしょうか？意外な歴史を知ることができるかもしれません。

また紹介した巨木は、公共の場所です。マナーを守りましょう。

また本栖湖の山神社には駐車場がありません。お気をつけください。



河口浅間神社の七本杉



北口本宮富士浅間神社の夫婦松



地図データ ©2018 Google, ZENRIN 2 km



精進湖諏訪神社の精進の大杉



河口浅間神社の七本杉



本栖湖山神社の夫婦杉

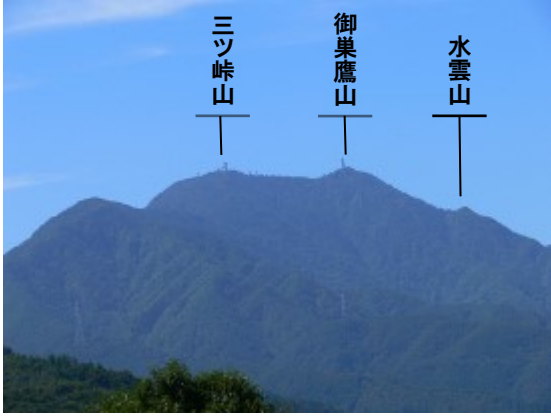


北口本宮富士浅間神社の富士太郎杉

第三話

― 三ツ峠の祭り編 ―

三ツ峠の祭礼は、今日でも続けられています。今回は、大幡地区の祭りと私の不思議な体験をお話します。



都留市より見る水雲山

都留市大幡地区では三ツ峠北口登山口に祠があり、5月初旬に祭礼が行われています。古くは御巢鷹山の北東の尾根を少し下った「水雲山」と呼ばれる切り立った岩のところまでお参りに行っていました。その後、滝を通る登山道が開削され、祭礼の場所も滝のたもとに移動し、さらに麓近くの登山口に新たに石造りの祠が置かれました。現在ではここが祭



岩の上の水雲山の祠

礼の場所となつていきます。祭事が済むと「イヌの御札」が配られます。これは、秩父の三峯神社みつみねじんじやや奥多摩の御嶽神社みたけじんじやのオオカミ信仰の影響なのだそうです。大幡には伝説があり、日本武尊やまとたけのみことが腰を下ろしたところが御座石ございしだと言われています。

日本武尊が道迷いをしたときに道案内をしたのがオオカミでした。実は、私も同じような体験をしたのです。

御巢鷹山の古い祠のあるところは「水雲山」と呼ばれています。そこを訪れたのは、2006年10月のこと



滝のたもとの水雲山の祠

でした。山頂は霧に包まれていました。尾根を歩くと、やがて岩場に着きました。そこには「水雲山三峠大権現」と刻まれた石造りの祠がありました。側面には、文政8年(1825)と書かれています。お参りを済ませたのち、沢道のコースを下ることにしました。当初の道ははつきりとしていましたが沢に入ると不明瞭になり、とうとう道を見失ってしまいました。午後3時を過ぎ、しばらく不安な時を過ごしていたところ、何やら動く物が目に入りました。「どうして、あんなところにイヌがいるのだろう」と思いました。イヌは私を見ることはなく、一度立ち止まった後、とことこと森の中に消えていきました。私はイヌが歩いていたらとこまで登ってみると、そこに登山道があったのです。そして、無事に下山するこ



登山口で行われる水雲山の祭り

とができました。イヌに道を教えてもらったのです。「イヌの御札」を知ったのは、翌年に祭りに参加させていただいたときでした。私が出くわしたのは、キツネであり、「化かされた」のかもしれない。

大畑地区の信仰は、富士山に直面する屏風岩下にも石仏が多数あります。富士山を特に意識する一方、この山独自の信仰があるのは、興味深いものです。



大沢崩れ ダイナミックな富士の姿

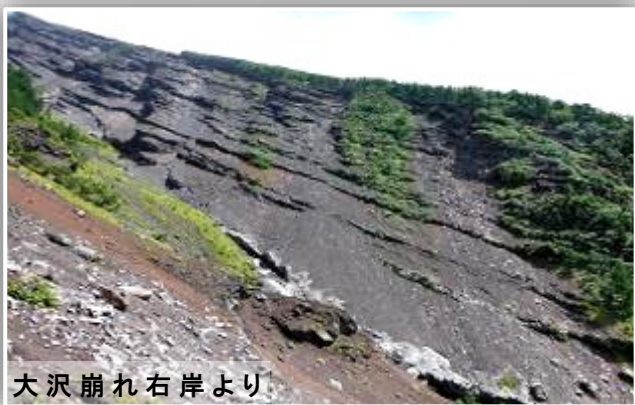
大沢崩れ

富士山の西側斜面に位置し、山頂の火口直下から標高2,200m付近まで達する大沢崩れは、富士のダイナミックな自然の姿を見せています。

この谷はおよそ1000年前から拡大がはじまったと推測されており、毎日少しずつ崩落が起きています。年間で平均15万 m^3 の土砂が崩れ落ち、拡大を続けています。近くでは崩落が起きる“ザザー”という音が絶えず聞こえてきます。

崩落によってできた土砂は、大雨の降った時などに土石流となって一気に流れ下ることがあります。

現在、御庭から大沢崩れの区間は沢の崩落などにより、一般利用者の通行を想定した管理が行われていません。危険ですので、むやみに立ち入らないでください。



大沢崩れ右岸より



大沢へ向かう途中の沢

地質



大沢崩れの地質は、柔らかいスコリア(火山灰などの噴出物)と硬い溶岩が、ミルフィーユ状にたがいがいに組まれています。風や雨、気候の変化によって、やわらかいスコリアが流れだし、硬くて重い溶岩が崩れ始めます。この現象がたえず繰り返され、崩れが広がっていきます。崩れた岩や砂は谷底にたまり土砂流発生時に下降へ流れていきます。

2018年 4月～6月
富士山レンジャー活動報告

富士山レンジャーとは

富士山レンジャーは、富士山の美しい自然と文化を守るため、年間を通じて富士北麓周辺のパトロールを中心に7名で活動しています。



山梨県立富士山世界遺産センターにて撮影

新任レンジャー紹介



穂坂義人

20年以上ぶりに山梨という故郷に戻り、生活を始めました。

二十代の大半は、おぼつかない旅ではありましたが、海外の国々を肌で感じながら、人と自然の共生が平和のキーワードなんだと心に留めていました。そんな折、富士山と関わりを持ち仕事が出来た事に感謝しています。今後は先輩レンジャーや富士山関係者を見習いながら少しでも力になれたらと思います。

三湖台東海自然歩道合同点検

東海自然歩道の一部である三湖台登山道の施設、標柱、看板、イスやテーブルなどを隔月で点検しています。



点検の様子

今年度初めての点検日は5月9日(水)でした。東海自然歩道を管理し

ている山梨県観光資源課と合同で行い、枯れ木の倒木や壊れた標柱を撤去しました。

五合目自主防災訓練

富士山での有事に備え、スバルライン自主防災協議会、山梨県、山梨県警、富士吉田市、富士五湖消防本部の合同主催で、富士山五合目及び五合目以上に勤務している者を対象にした避難訓練を実施しています。

本年度は5月30日(水)に行われ、レンジャーも登山者誘導役と観光客役で訓練に参加しました。「富士山直下を震源とする震度4の地震が発生し、富士山の噴火警戒レベルが3に引き上げられ、入山規制が敷かれた」という想定でした。観光客や登山者へヘルメットを配布し、バスまで誘導する手順を訓練しました。



訓練の様子

山・静・神合同不法投棄防止一斉パトロール

5月30日(水)、山梨県・静岡県・神奈川県との三県合同で富士箱根伊豆地域にて、不法投棄の未然防止、早期発見、拡大防止を図る目的で一斉パトロールを行いました。



開始式の様子

富士山レンジャー担当区域において、スロットゲーム、プラスチックコンテナ、家庭ゴミ、大量の空き缶等の不法投棄を報告しました。



家庭ゴミ



スロットゲーム

富士山世界遺産センターだより7号

今回は、山梨県立富士山世界遺産センターが行っている富士山の調査研究活動についてご紹介いたします。

富士山が世界遺産に登録されて5年が経つ今年は、ユネスコに保全状況報告書を提出しなければなりません。当センターでは、ユネスコの審問機関であるイコモスから提示された課題である「巡礼路の特定」に向けた調査を継続して行っています。



巡礼路の石造物調査(御殿場市)

その調査成果を広く皆様にお伝えするための活動として、シンポジウムや講座の開催、研究紀要の刊行、企画展を開催しています。

シンポジウム

今年の2月10日(土)、山中湖村で開催しました。富士山を目指す人々が甲斐・駿河間を歩き来したツ

ナ道と籠坂道について考察しました。

研究紀要

2017年に発行した研究紀要「世界遺産富士山」第1集では富士山の中腹を巡る御中道を、翌年発行の第2集では登山道や山麓に至る道について報告しました。



研究紀要・報告「世界遺産富士山」

世界遺産富士山講座

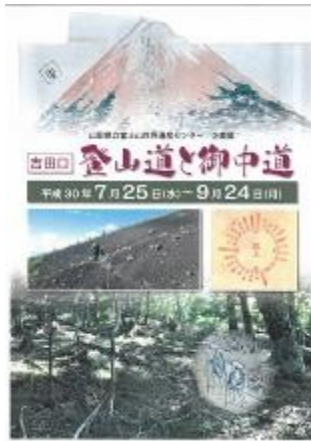
センターの普及啓発活動として、年間8回にわたって「世界遺産富士山講座」を開催しています。山梨県内外の研究者を講師として招き、広い視野に立った富士山の歴史・文化・自然について学ぶことができる内容となっています。

企画展

多くの方々に観覧頂いている常設展ですが、それを補完し、調査の成果を反映させた企画展を年2回開催しています。昨年度冬の企画展「マグマの大地『まるび』」では、富士山から流下した溶岩と、その溶岩で作られた船津胎内樹型に関する信仰を紹介しました。そして、今夏開催する企画展「吉田口登山道と御中道」では、2つの道に係わる信仰を紹介します。



吉田口登山道の調査



企画展「吉田口登山道と御中道」

期間：平成30年7月25日(水)～9月24日(月) ※休館日 8月28日(火)

会場：山梨県立富士山世界遺産センター南館 富士山ステーション

ワークショップ「ペーパークラフト富士山」

企画展限定デザインの富士山を作ろう！

開催日時：8月中の日曜日および祝日 10:00～16:00



イベント情報

富士山美化啓発キャンペーン ボランティア大募集

開山中の混雑期にゴミの持ち帰り等、登山マナーを呼びかけながら啓発物品を配布し、また富士山の景観保全のための清掃活動を行うボランティアを募集します。皆様の積極的なご参加、お待ちしております。

【実施期間】

7月14日(土)～16日(月)、8月10日(金)～15日(水)の9日間、期間中何日でも参加できます。

9:30～11:30 (集合時間 9:00)

【活動場所】

山梨県立富士北麓駐車場
(山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-84)

【集合場所】

富士山ボランティアセンター
(山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
山梨県立富士山世界遺産センター北館内)

【募集人数】

各日10～13名

【持ち物等】

雨具、帽子、飲み物、動きやすい服装 等

【募集締切】※募集期間を延長しました。

7月14～16日実施分：7月10日(火)まで

8月10～15日実施分：8月7日(火)まで



啓発活動

登山者や観光客にゴミ袋等を配布しながら、登山マナーを呼びかけます。



清掃活動

駐車場内の清掃活動を行います。



室内作業

配布するゴミ袋を折りたたむ作業を行います。

富士山レンジャー写真展 2018 巡回展示中

山梨県富士山レンジャーが撮影した美しい風景や植物、富士山が抱えている問題などを紹介しています。富士山レンジャーならではの視点で撮られた写真をぜひご覧ください。

6月30日(土)～8月30日(木)	談合坂サービスエリア下り線
7月2日(月)～7月31日(火)	アウトイングプロダクツ エルク
7月7日(土)～7月22日(日)	mont-bellモンベル渋谷店
9月1日(土)～9月15日(土)	山梨県立図書館
9月19日(水)～10月1日(月)	山梨県立富士山世界遺産センター北館
10月2日(火)～10月25日(木)	富士山レーダードーム館
10月26日(金)～11月11日(日)	河口湖ショッピングセンターベル



富士山憲章 (行動規範)

- 一、富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一、富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一、富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一、富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一、富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の保全の理念や行動規範を示すことにより、富士山の保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくこと目的としています。

■編集・発行 富士山ボランティアセンター (富士山憲章山梨県推進会議)

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
(山梨県立富士山世界遺産センター北館内)
TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114
E-MAIL: fujisan@eps4.comlink.ne.jp

本誌のバックナンバーは下記よりダウンロードできます。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全関連イベントのメールマガジンを希望する方は、「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」の会員登録画面より登録してください。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/maillmagazine/regist.html>